令和6年度 江戸川区立松江第二中学校 学校関係者評価報告書(学校経営計画・学校関係者評価シート)

学校教育目標	・ すすんでき ・心の豊か? ・健康でた。			〈学校像〉"生徒第一義の学校"・生徒一人一人の可能性を信じ、生徒の成長を第一とする学校・生徒自身の人生の基盤をつくることができる学校・生徒が夢をもち、生徒の輝く笑顔がいつも見られる学校・生徒・保護者・地域から信頼される学校 (生徒を)・自分以外の多様な人を受け入れ、優しく温かい生徒 ・思いやりの気持ちと豊かな心をもち、ルールを守る生徒 ・意欲的に学力向上に努力する生徒 ・積極的に体力向上に努力する生徒 (教師像〉・生徒の成長を第一とし、常に専門職としての資質・能力の向上に努める教職員 ・「師弟同行」を胸に刻す教師像 み、胸を張って生徒指導に取り組める教職員 ・組織の一員として職責を十分理解し、互いに学び合い、高め合える教職員 ・前例踏襲にとらわれず、生徒第一義の教育活動を実践できる創造力豊かな教職員 ・生徒・保護者・地域の方・教職員に対しても優しく温かい対応ができる教職員
前年度までの本校の現状	成果	人権尊重教育を基盤とした魅力ある教育活動の実践(SDGs、ユニバーサルデザイン) コロナ禍明け、通常の学校行事の完全実施 授業改善の継続、放課後補習教室や自主学習教室等による基礎学力の定着	課題	<課題>・家庭学習習慣の未定着者による基礎学力定着への一層丁寧な対応 ・不登校及び不登校傾向生徒、特別支援を要する生徒への個に応じた指導や支援の充実 ・本校入学を選択する生徒数の増加(昨年度の転入生約15人は安心して本校に通学している)

重点	取組項目	具体的な取組内容	数值目標	達成度		「中間」 自己(学校)評価(A~D)		「中間」 学校関係者評価(A~D)		「年度末」 自己(学校)評価(A~D)		「年度末」 学校関係者評価(A~D)		次年度に向けた 改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	以普条
学力の	・授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な	による授業改善・・・目標の提示、学習活動の明確化(グループ活動の工夫)、 振り返りの定着、ICT・タブレットの効	・全国学力・学習状況調査の数値を上回る(昨年度、都平均より国語-7 数学-5 英語+2) ・生徒・保護者アンケートの「学習指導・授業工夫」の項目、高評価80%以上(昨年度76%)											
の向上		・宿泊行事・校外学習の事前事後学習で、探究学習成果物の完成・レベルアップ。 ・全校生徒へも呼びかけ、自主的な探究活動の増加。 ・よむよむワークシートの有効活用	・全生徒の読書科の探究活動成果物、完成 ・「図書館を使った調べる学習コンクール」の 上位作品入賞(昨年度はない) ・生徒アンケートの「情報収集・発表力向上」 の高評価85%以上(昨年度83%) ・学校公開等での作品展示の保護者高評価 92%以上(昨年度90%)											
体力の向上	>	・生活習慣改善の呼びかけと生活リズム・自己管理の定着 ・保健体育授業時の補強運動の継続 ・オリバラ教育や掲示物により、スポー ツに親しむ心の育成	・感冒・感染による学校・学年閉鎖なしの継続 (昨年度学級閉鎖1回) ・体力テスト評価、区平均・都平均を上回る ・生徒・保護者アンケートの「生活習慣・体力 向上」の項目高評価80%以上(昨年度75%)											
推出会	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	体的な支援策の共有 ・関係諸機関との緊密な連携(特にヤングケアラー、ネグレクト系) ・生徒、保護者のニーズに合わせた活用	・支援を要する生徒が、安心して通常の学校生活を送る(行動観察) ・生徒・保護者アンケートの「学校生活充実」の項目高評価90%以上(昨年度89%) ・保護者アンケートの「不登校、特別支援への指導」の項目高評価80%以上(昨年度62%)											
不 登 校	く子どもたちの健全育成に向けた取組> ・不登校生徒への対策の充実	・欠席増加(連続3日を目安)による初 期対応と適切な支援	・不登校生徒の減少(目標10以下、昨年度 15)											
実の対応の充	教育相談の強化Hyper-QUの活用	・個別面談、SC面談等の情報共有 ・HyperQUの分析のよる要支援・不満 足群への支援	・いじめ案件を限りなくゼロに近づける ・トyperQUの要支援・不満足群の改善(第2 回QUでの数減少、昨年度は全クラスとも改善) ・保護者アンケートの「いじめ指導、問題行動 解決」の項目高評価80%以上(昨年度68%)											
学校へ開切り	な発信> ・学校 (園) ホームページの 充実等 ・学校 (園) 公開の実施・充 実	関の実施 ・土曜授業・学校公開の年10回実施 ・保護者会等の欠席者への適切な情報提供												
れ会 の 実 現	<学校関係者評価の充実> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	・学期ごとの生徒・保護者アンケートの 実施 ・PTA役員会、学校評議員会による意 見聴取	・生徒・保護者アンケートの「教育活動全般」 の項目高評価90%以上(昨年度75%) ・本校への肯定的な意見、9割以上(昨年度、 批判的な意見はほぼなし)											
教育の展開	教育推進校の成果を継続発展 > 	・共生社会の考えを基盤にした、差別や 偏見のない環境づくり(校内環境整備、 講演会、道徳授業等)	の項目高評価90%以上(昨年度生徒88% 保護 者75%)											
	<教員研修のさらなる工夫と 実施>	・OJTグループと研修グループを融合し、教員同士の力量の向上 ・個別テーマの研修の充実	・年度末の面接、校内研修で成果を報告、高評価8割以上、持続可能な研修への更なる助言											
	<働き方改革の一層の推進>	・定時退勤日の告知・呼びかけ ・部活動時間の改変(年間通じ18時最 終下校)→生徒生活リズムの安定	・時間外80ト越え産業医面談を年間を通じゼロに(昨年度のべ5人) ・ストレスチェックの数値をより一層低く(昨年度区内上位)											